

平成 20 年度の講演会事業

当会主催の「第 1 回講演会」が齋藤清美先生をお迎えして、以下の通り開かれました。この講演会は共催者として、鹿児島県測量設計業協会、鹿児島県建設コンサルタント協会となり、参加者の CPD 等の認定にご協力いただきました。また、鹿児島県、南日本新聞社、鹿児島県技術士会に後援していただき、コンサル関係の技術士ら 55 人が参加し盛会裏に講演会を開催できました。また、講演会終了後、有志で、齋藤先生を囲み意見交換ができました。有意義な一日でした。講演等の参加者の皆様ありがとうございました。また、開催準備からご協力いただいた NPO 会員の皆様方に感謝申し上げます。ご苦労様でした。

日時：11 月 8 日(土)14:00～17:00

場所：かごしま県民交流センター(鹿児島市山下町) 50 人程度・参加料 1000 円

演題：「九州の環境資源と新しい環境技術パラダイム」

—環境立国に向けた技術開発の動向—

講師：講師：九州環境技術研究所齋藤 清美（サイトウキヨミ）氏博士（工学）、技術士
社団法人日本技術士会 P・P チーム、DE クラブ事務局長、九州支部業務開発委員

当日の講演の様子です。また、かごしま建設新聞、南日本新聞の記事は別添の通りです。



鹿児島技術士の会講演会 環境ビジネスを創出

その中で、井野元博士の「地域の風土、文化がつくり上げた街並みを保存し、継承していくことが建築士としての役割。さまざまな角度から提案する中心的役割を担う必要がある」と報告。地域

耐造りと危機管理」と題して、日本や中国経済の由来や製造方法と工程における自然災害との因果関係などを、本県下の酒蔵で過去に起こった幾つかの事案について説明した。

講演では、齊藤博士が「世界主要国のエネルギー事情と政策の方向性」について説明。「日本は、自給率が5%（原子力含めて20%弱）、中近東に頼る石油。しかし、エネルギー効率は世界1位。今後、石油は中国へ向かう」と解説し、代替エネルギーへの切り替えをビジネスチャンスとした。

環境ビジネス創出に向け九州地域の優位性（進む企業立地によるものづくり拠点化）は、バイオマス利活用のポテンシャルや自然エネルギーの豊富さを挙げた。

同会の前田美樹副環境部会代表は、「九州における環境ビジネスの動向と技術開発、ビジネスの方向性を模索。新たな産業の創造に向けて今回の講演会を参考に可能性を」と述べた。

NPO法人鹿児島技術士の会（新留司理事長）は8日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで、九州環境技術研究所

の齊藤清美博士（衛生工学）を招き、「九州の環境資源と新しい環境技術パラダイム」（環境立国に向けた技術開発の動



技術士ら55人が参加した講習会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

向」と題した講習会を開き、建設やコンサル関係の技術士ら55人が参加した。受講後、CPD受講修了証が発行された。

今回は、「21世紀を見

南日本新聞 みなみのカレンダー

本 業 刊 厚 冊 2008年(平成20年)11月5日

カレンダー

掲載希望の方
クスに資料をお
とがあります。
きません。掲載

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

◆NPO法人「鹿児島技術士の会」講演会 8日午後2～5時、鹿児島市のかごしま県民交流センター。1000円。先着50人程度。九州環境技術研究所の齊藤清美さんが「九州の環境資源と新しい環境技術パラダイム」と題し、21世紀を見据えた環境ビジネス創出の取り組みなどを紹介する。鹿児島技術士の会 099(海)60292

掲載先 三軒茶屋 三軒茶屋
ヨイ、キャラクタージュ
ー(クレヨン)しんちゃん、
ん、花火など。前後祭
は8日午後5時半、カラ
オケによる星交響楽コン
テスト。中学生以下によ
るちびっ子の部と一般の
部がある。両日とも無料。
市城北総合支所 099
(海) 11111